



地区活性化協議会による耕作放棄地の解消

かわにし

富山市八尾町河西地区

状況

地区概要：農地面積 22ha、うち耕作放棄地 0.35ha

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力・農業機械による再生作業が必要

取組概要

対象面積：約0.35ha(水田)

実施期間：平成21年7月～11月

取組のきっかけ：直接支払制度に取り組んでいる集落であるが、一部農振農用地外の部分で耕作放棄地がみられ、地域の景観を損ねていることから復旧に取り組んだ。

調整経緯：地域の活性化協議会が中心となり、地権者と調整を図った。

取組主体：河西活性化協議会

作業内容：県単「美しい農村景観整備事業」の補助を受け、再生作業後、ブルーベリーの作付けを行った。

今後の予定

植え付けを行ったブルーベリーを3年後には直売所等へ出荷するとともに、摘み取り体験農園を目指す。





再生作業前



再生作業実施中



栽培状況

 **農業者協議会による耕作放棄地の解消** 

かみなかじま
魚津市 上中島地区

状 況

地 区 概 要 : 農地面積 241ha、うち耕作放棄地 2.3ha

放 棄 の 理 由 : 農業者の高齢化による労働力不足等

荒 廢 の 程 度 : 雑草の繁茂(人力・農業機械による再生作業が必要)

取組概要

対 象 面 積 : 0.12ha(水田)

実 施 期 間 : 平成21年12月～平成22年3月

取組のきっかけ: 魚津市農業者協議会が、耕作放棄地全体調査をきっかけに、耕作放棄地の再生の取り組みを開始。

調 整 経 緯 : 地域の営農組合等に働きかけ、地主と利用者との調整を行い、実施に至る。

取 組 主 体 : 魚津市農業者協議会

作 業 内 容 : 刈払い、除根、耕起、地力増進作物の作付け

今後の予定

解消農地については、地域の営農組合に今後の営農管理を依頼、平成23年度からは麦、大豆、水田等の予定。



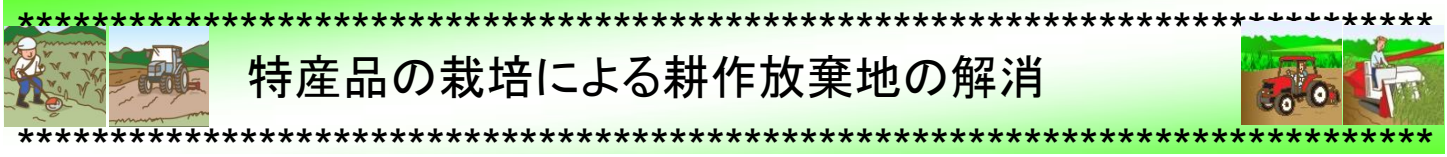
再生作業前



作業実施中



再生作業後



特産品の栽培による耕作放棄地の解消

くるみ 氷見市 胡桃地区

状 況

地 区 概 要 : 農地面積 21ha うち耕作放棄地約0.5ha
 放棄の理由 : 災害による離農・高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度 : 雑草・灌木の繁茂により、人力・農業機械による再生作業が必要

取組概要

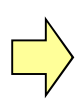
対 象 面 積 : 約0.16ha(水田)
 実 施 期 間 : 平成21年5月～8月
 取組のきっかけ : 農事組合法人くるみ営農組合が、JA氷見市のハトムギ栽培振興策をきっかけに、地区内の耕作放棄地を再生した。
 取 組 主 体 : 農事組合法人くるみ営農組合
 作 業 内 容 : 営農組合が自主的に草刈りや雑木の除去等再生作業を実施した。

今後の予定

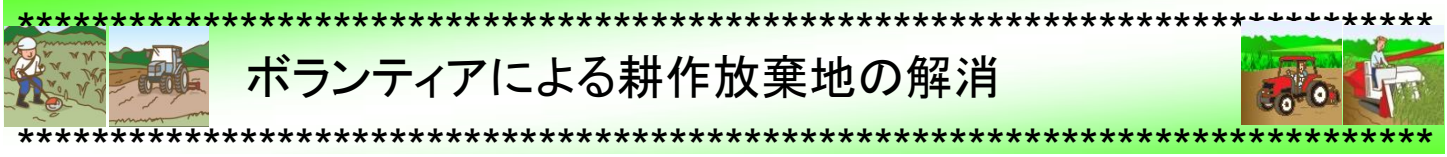
今年度より棚田保全活動支援事業の採択を受けるなどの取り組みを進めており、地区振興のために地区内にある他の耕作放棄地についても、徐々に再生していく意向である。



再生作業前



再生作業実施中



ボランティアによる耕作放棄地の解消

ひがしやまみ 砺波市 東山見地区①

状況

地区概要：農地面積 146ha、うち耕作放棄地 18.0ha

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草・灌木の繁茂に加え、一部のほ場では古タイヤ等のゴミの不法投棄もあり、人力・農業機械による再生作業が必要

取組概要

対象面積：約0.23ha(水田)

実施期間：平成21年7月～8月

取組のきっかけ：耕作放棄地全体調査をきっかけに、砺波市農業委員会がボランティアによる耕作放棄地の草刈りの取り組みを開始した。

調整経緯：農業委員会の取組に呼応して、県・市・JAなど関係団体職員がボランティアによる再生活動を行った。

取組主体：砺波市耕作放棄地対策協議会

作業内容：耕作放棄地再生利用推進交付金を活用しながら、関係団体職員のボランティアにより、草刈り等の再生活動を実施した。

今後の予定

本年度から、管内で振興している“たまねぎ”を栽培し、「実証ほ場」として普及・啓発していく予定。



再生作業前



ボランティア実施中



栽培状況



ボランティアによる耕作放棄地の解消



ひがしやまみ

砺波市 東山見地区②

状況

地区概要：農地面積 146ha、うち耕作放棄地 18.0ha

放棄の理由：畑地を分筆し、一部で果樹を栽培。残った農地は石が多く、法面が高いため機械が入らないなど、条件不利で耕作を断念していた。

荒廃の程度：約3年間、耕作されておらず、雑草が繁茂

取組概要

対象面積：約0.03ha(畑)

実施期間：平成21年7月～8月

取組のきっかけ：砺波地区の青年農業者達が、地産地消にこだわった作物栽培を検討していたところ、耕作放棄地の状況を知り、解消に取り組むこととなった。

調整経緯：砺波地区農業青年協議会が土地所有者との調整を行った。

取組主体：砺波地区農業青年協議会

作業内容：協議会の会員で、草刈りや耕起・石拾い、畝立て、マルチがけの再生作業を実施。

今後の予定

当該農地でキャベツ栽培に取り組み、収穫されたキャベツは、地元農業まつりで「焼きそばの具材に活用」や「生キャベツとして販売」を予定している。





再生作業前



草刈り作業



畝立て・マルチがけ

 **耕作放棄地再生利用緊急対策による解消** 

いわおだき
小矢部市 岩尾滝地区

状 況

地 区 概 要 : 農地面積 5.9ha うち耕作放棄地約0.3ha

放棄の理由 : 離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度 : 雑草・灌木の繁茂、湧水のために、人力・農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積 : 0.12ha(水田)

実 施 期 間 : 平成21年11月～平成22年3月

取組のきっかけ : 地域の小学校が廃校となり、地域の衰退に危機感を持った地区振興会が、都市農村交流事業の重点地区指定をきっかけに、地域おこしとして農業体験活動を始めた。

調 整 経 緯 : 農業体験活動のほか、地元の直売所で取り扱う作物を新たに栽培するために、耕作放棄地の活用に取り組んだ。

取 組 主 体 : 南谷地区交流推進協議会

作 業 内 容 : 耕作放棄地再生利用推進交付金を活用しながら、地域住民等のボランティアにより草刈りを実施し、ウドを移植した。

今後の予定

再生した農地では、平成21年はウドを栽培した。平成22年はサトイモの栽培を予定している。



再生作業前



再生作業実施中



ウド栽培状況

よこえ
立山町横江地区

状 況

地 区 概 要 : 農地面積30ha、うち耕作放棄地 24ha

放 棄 の 理 由 : 離農・高齢化による労働力不足等

荒 廢 の 程 度 : 雑草・灌木が繁茂し、人力・農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積 : 約0.9ha(水田)

実 施 期 間 : 平成21年6月～平成22年3月

取組のきっかけ: 本地域は立山黒部アルペンルート of 玄関口で、年間100万人が訪れている。耕作放棄地が増加し、景観が悪くなっているため、美しい景観を取り戻そうと取り組みを行った。

調 整 経 緯 : 地域の耕作放棄地対策協議会が、地権者と調整を図った。

取 組 主 体 : 横江地区耕作放棄地対策協議会

作 業 内 容 : 県単美しい農村景観整備事業の補助を受け、再生作業後、景観作物の作付けを行った。

今後の予定

今後も、草刈り・景観作物の植え付けを行い、地域の景観保全を行う。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後